

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和3年 2月26日

事業所名:なかよし園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		基準上より、広いスペースを確保している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		基準よりも、多めの職員を配置している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		靴箱や持ち物を入れる箱、椅子等に一人ひとりマークを付けて、視覚的にわかりやすくしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		コロナ禍の折、午前・午後とも療育終了後に、室内の清掃及び消毒、玩具の消毒を行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		定期的に会議を持ち、職員の共通理解に努めている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者等向け評価を行うことで、保護者の意向や情報について収集し、改善すべき部分を行っている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページで公開している。また、公開していることを親の会役員会の中で報告し、全保護者には議事録で伝達している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		各種研修会への参加を行い、研鑽している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		職員間で、得た情報は共有できるように、記録を取っている。口頭でも伝えあう。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメント表を作成し、記録している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画の下、個々に応じた支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員と細かい部分まで話し合い、行っている。また、毎回、事前にミーティングを行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎月、日々の計画を立てて構成あそび・感覚あそび・社会的あそびをまんべんなく経験できるように設定している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		毎回、療育案(活動内容)を立て、個々に合わせて行っている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		職員間で打ち合わせをして、子どもの関わり等についても把握・確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育終了後は、子どもや保護者の様子を伝え合ったり、専門療法士が所属しているときは、カンファレンスの場で、効果について学び、共通理解を持っている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回、子どもの記録を行っている。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		保護者への報告の際、子どもの変化や保護者の意向を確認し、計画の見直しにつなげている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達管理責任者を中心に参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		総合発達相談会へ参加している。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		それぞれの機関との連絡会、情報交換会を行っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センター主催の連絡会・勉強会に参加している。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		今年度は、コロナ禍で実施できなかったが、今後は同法人の保育園と交流を行っていきたい。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		-協議会開催の案内がないが、案内が来たら参加したい。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者通園のため、療育終了後報告を行っている。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		毎年、ペアレントプログラムを実施し、保護者に参加してもらっている。		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		入園時の面接時に、重要事項をもとに伝えている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		面談時に保護者の意向を聞いたり、同意を得て作り上げている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談時は、随時行っている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		親の会があり、会長以下、6グループのグループ長と定期的に会議を行ったり、勉強会を実施している。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		随時相談を受けて対応している。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、月のおたよりを発行配布している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		法人のプライバシーポリシーに基づき、十分に気を付けている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者通園のため、一緒に考えたり、関わり方や言葉かけの話をしたりして察せられるようにしている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	○		地域の広報誌に園の行事を掲載し、地域とのつながりを持っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<input type="radio"/>		マニュアルを作成し、職員・保護者が周知できるようにしている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>		年間計画のもと、訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>		入園の面接時に聞き取りをして把握し、個々に対応している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>		入園時の面接のときに、しっかりと把握し、職員が周知している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>		記録簿を作成し、職員に回覧し周知している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>		毎年、事例を伴った研修会を実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。